

高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第46週 （11月10日～11月16日）

★県内での感染症発生状況

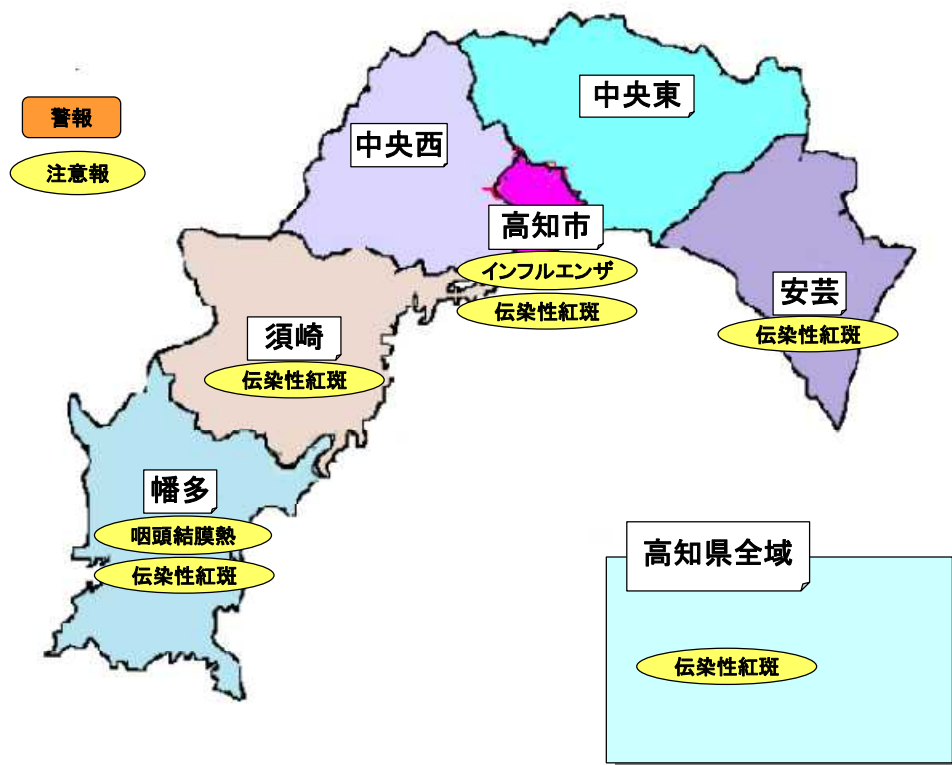
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	保健所管内別の傾向
インフルエンザ	↑	7.08	高知市、中央東、安芸で急増、須崎、幡多で増加しています。
新型コロナウイルス感染症	→	3.39	中央東で増加していますが、安芸で急減、幡多で減少しています。
感染性胃腸炎	↗	2.50	高知市で急増していますが、須崎で急減、中央西、中央東で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	1.80	幡多で急増、高知市で増加していますが、中央東、中央西で急減しています。
伝染性紅斑	→	1.00	安芸、須崎、幡多で急増、高知市で減少しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「木曜日」の午後3時30分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

★気になる感染症

麻しん（はしか）

高知市保健所管内の医療機関から、平成 20 年以来、17 年ぶりとなる麻しんの報告が 1 件ありました。

麻しんは、非常に感染力が強く、免疫を持っていない場合はほぼ 100%感染すると言われています。

発熱や発疹などの「麻しん」が疑われる症状（発症時は軽い発熱のみの場合があります）がでた場合は、必ず受診前に医療機関に連絡、相談のうえ、受診時の注意点を確認し、受診するようお願いします。

●症状

・感染すると約 10～12 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3 日熱が続いた後、39℃ 以上の高熱と発疹が出現します。

・周囲への感染可能期間は、発症日の 1 日前から解熱後 3 日間を経過するまでと言われており、発症前から感染する可能性があります。

●予防方法

予防接種をうけ、あらかじめ免疫をつけておくことが最も効果的です。

※ただし、妊婦の方は接種することができません。

<予防接種法に基づく定期予防接種の対象者>

第 1 期：生後 12 月から生後 24 月に至るまでの間にある者

第 2 期：5 歳以上 7 歳未満で小学校就学前の 1 年間

※高知県は、全国に比べ第 1 期、第 2 期とも接種率が低い状況にあります。定期接種の対象者は、積極的な接種をお願いします。

●参考

*麻しん（はしか）患者の発生に係る情報提供（高知県健康政策部健康対策課）

https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025111500025/file_contents/file_20251115616151_1.pdf

*麻しん（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

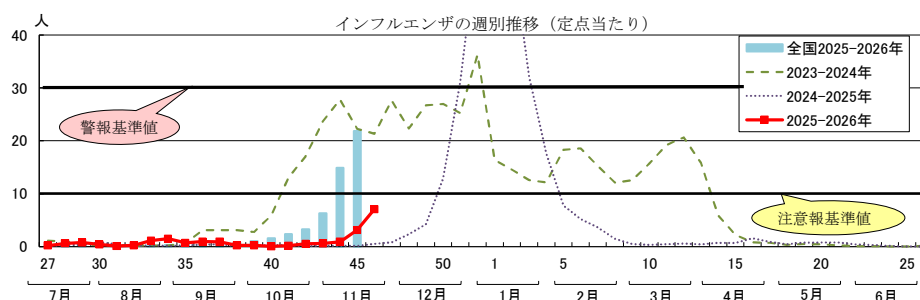
インフルエンザ

高知県の定点当たりの報告数は、第 40 週以降 6 週連続で増加しており、一部の地域では注意報値を超えています。全国では、第 34 週以降増加が続いています。今後も、感染者数が増加するおそれがありますので注意しましょう。

また、学校等で集団発生による学年閉鎖、学級閉鎖が多数報告されているので注意してください。

県内のインフルエンザ定点医療機関での迅速診断では、インフルエンザ A 型が 175 件（90.2%）、インフルエンザ B 型が 19 件（9.8%）と 2 種類報告されています。

全国では、原因ウイルスとして、第 42 週～第 46 週は AH3 が最も多く 85.1%（120 件）、次いで AH1pdm09 が 12.1%（17 件）、B（ビクトリア系統）が 2.8%（4 件）の順で検出されています。



学校等における集団発生

※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第46週	—	—	—	—	—	—	—
	累計	—	—	—	—	—	—	—
学年閉鎖	第46週	—	—	2	—	1	—	3
	累計	—	—	2	—	2	—	4
学級閉鎖	第46週	—	—	6	1	1	—	8
	累計	—	—	8	2	1	1	12

●インフルエンザ予防接種

インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。ワクチン接種後抗体ができて予防効果が発現するには、およそ2週間かかると言われています。かかりつけ医等、医療機関に相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討ください。

●予防方法

～かからないために～

＊外出した後などにはこまめに手洗いしましょう。

＊外出時はなるべく人ごみを避けましょう。

＊十分な栄養と休養をとりましょう。

～うつさないために～

＊咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど「咳エチケット」を守りましょう。

＊インフルエンザが疑われるときには、登校を控えるなど、外出はできるだけ控えましょう。

●学校感染症

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

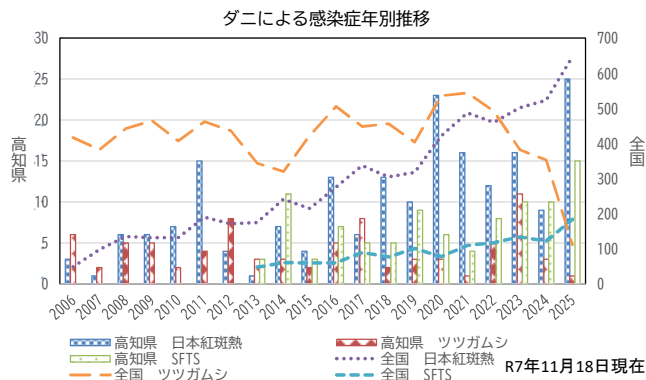
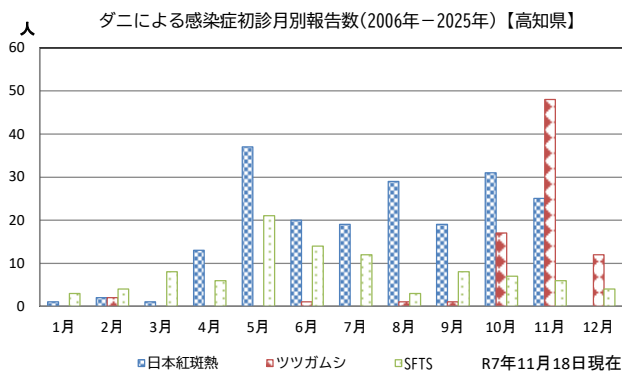
●厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

ダニの感染症(つつが虫病・日本紅斑熱・SFTS)

高知市保健所管内から「つつが虫病」が1件、安芸保健所、高知市保健所管内から「日本紅斑熱」が各1件の報告がありました。つつが虫病は今年初めての報告になります。

高知県、全国ともに日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）の報告数が増加し、2025年は届け出開始以降最多の報告数となっています。



つつが虫病は「ツツガムシ」に咬まれることによって感染します。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症である「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」にもご注意ください。マダニは、春から秋にかけて活動が活発になります。農作業やレジャーなど野外での活動が多くなる時期には、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

予防対策については、ツツガムシ・マダニに「咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどの対策をして注意しましょう。

また、ネコやイヌなどの動物が感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

●予防方法

＊ツツガムシ・マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。

＊忌避剤（虫よけ剤）を効果的に使用しましょう。（説明書の注意書に沿って使用してください。）

＊飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。

＊体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

＊野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。

＊受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ツツガムシ・マダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●ツツガムシ・マダニから身を守る方法

野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を避けましょう。

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

シャツの袖口は軍手や手袋の中に、裾はズボンの中に入れてみましょう。

ズボンの裾は長靴の中に入れるか、ズボンの裾に靴下を被せましょう。

野外活動後は、上着や作業着はそのまま家に持ち込まないようにしましょう。

また、シャワーや入浴でダニが付いてないかチェックしましょう。（「できもの」のように見えることがあります。）

ガムテープや粘着クリーナーを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。



出典：国立感染症研究所 昆虫医科学部

●参考

＊重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

＊高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	45	90 歳代 男性	安 芸
		1		70 歳代 男性	中央東
4 類	つつが虫病	1	1	70 歳代 男性	高知市
	日本紅斑熱	1	25	70 歳代 女性	安 芸
		1		80 歳代 男性	高知市
5 類	百日咳	1	1,304	10～14 歳 男性	安 芸
		1		10～14 歳 女性	
		1		10～14 歳 男性	高知市
		1		15～19 歳 男性	
		1		0～4 歳 女性	須 崎
	麻しん	1	1	30 歳代 男性	高知市

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	伝染性紅斑	発疹	6	男	高知市	human parvovirus B19 Human herpes virus 6
46	伝染性紅斑	発疹	7	女	須崎	human parvovirus B19
46	ヘルペス疑い	39℃, 口内炎, 歯肉炎	1	男	須崎	Cytomegalovirus Epstein-Barr virus Herpes simplex virus 1
受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	40℃, 下痢	8	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 咳嗽	8	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	40℃	7	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	40℃, 咳嗽	13	女	高知市	Influenza virus B/Victoria
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	40℃, 咳嗽	13	女	高知市	Influenza virus B/Victoria
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 咳嗽	13	男	須崎	Influenza virus B/Victoria
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃	6	男	幡多	Adenovirus NT Parainfluenza virus 1 Parainfluenza virus 2

前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	不明発疹症	発疹	5	女	須崎	Rhinovirus
45	水痘	発疹	1	男	須崎	Rhinovirus
受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
44	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽, 上気道炎	1	男	幡多	Adenovirus 1 Rhinovirus
45	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	40℃, 咳嗽	8	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
45	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	—	5	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
45	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃	6か月	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
45	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽	11か月	男	幡多	Rhinovirus

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	いちほら内科小児科	マイコプラズマ 1 例（12 歳男）
	早明浦病院小児科	インフルエンザ A 型 3 例（9 歳 2 人、13 歳） COVID-19 2 例（11 歳 2 人） 溶連菌感染症 2 例
	JA 高知病院小児科	水痘 2 例（姉弟例） 伝染性紅斑 1 例 突発性発疹症 1 例 COVID-19 1 例 インフルエンザ A 型 14 例 インフルエンザ B 型 1 例 第 45 週 マイコプラズマ（Lamp 法）5 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ感染症 7 例 （5 歳、6 歳、9 歳 2 人、11 歳、30 歳代、40 歳代） インフルエンザ A 型 63 例 インフルエンザ B 型 1 例 RS ウイルス感染症 3 例 COVID-19 1 例 サルモネラ 0-7 腸炎 1 例（10 歳）
	近森病院	インフルエンザ A 型 2 例
	はまだ小児科	インフルエンザ A 型 13 例 インフルエンザ B 型 3 例
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 4 例 インフルエンザ B 型 2 例 COVID-19 2 例 溶連菌感染症 9 例 アデノウイルス感染症 1 例 伝染性紅斑 5 例 胃腸炎が増えてきた
	ふないキッズクリニック	マイコプラズマ感染症 4 例 （7 歳女、9 歳男、10 歳女、11 歳女）
	細木病院小児科	マイコプラズマ感染症 8 例 （10 ヶ月男、1 歳男、2 歳女、3 歳女、4 歳男、7 歳女、8 歳女、10 歳女） RS ウイルス感染症 2 例 溶連菌感染症 7 例 感染性腸炎 3 例 インフルエンザ A 型 12 例 インフルエンザ B 型 4 例 COVID-19 4 例
中央西	くぼたこどもクリニック	帯状疱疹 1 例（15 歳女：須崎市） マイコプラズマ感染症 1 例（4 歳女）
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例（2 歳男）
須 崎	もりはた小児科	RS ウイルス感染症 2 例 肺炎マイコプラズマ感染症 3 例（3 歳、6 歳、7 歳） インフルエンザ A 型 23 例 インフルエンザ B 型 1 例 COVID-19 2 例 サルモネラ腸炎 1 例
幡 多	渭南病院小児科	マイコプラズマ気管支炎 1 例（15 歳男） マイコプラズマ肺炎 1 例（14 歳男）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2025 年 11 月 18 日現在の情報により作成しています。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）

定点名 (定点数)		保健所 疾病名等	第46週 令和7年11月10日（月）～令和7年11月16日（日）							高知県衛生環境研究所			
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国（45週）	高知県（46週未累計） R6/12/30～R7/11/16	全国（45週未累計） R6/12/30～R7/11/9
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*	57	263	871	192	121	185	1,689（ 44.45 ）	1,628（ 42.84 ）	301,188（ 78.35 ）	47,401（ 1247.39 ）	6,634,314（ 1729.49 ）	
	インフルエンザ	7	47	137	26	34	18	269（ 7.08 ）	119（ 3.13 ）	84,183（ 21.82 ）	8,679（ 228.39 ）	832,531（ 200.18 ）	
	新型コロナウイルス感 染	8	37	41	21	12	10	129（ 3.39 ）	135（ 3.55 ）	7,542（ 1.95 ）	8,494（ 223.53 ）	737,894（ 177.42 ）	
小児科 (20)	咽 頭 結 膜 熱		2	2	1		3	8（ 0.40 ）	6（ 0.30 ）	540（ 0.23 ）	230（ 11.50 ）	42,197（ 16.39 ）	
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎		2	28			6	36（ 1.80 ）	22（ 1.10 ）	4,623（ 1.97 ）	1,865（ 93.25 ）	242,769（ 94.32 ）	
	感 染 性 胃 腸 炎	2	1	41	3		3	50（ 2.50 ）	33（ 1.65 ）	7,993（ 3.40 ）	3,334（ 166.70 ）	706,411（ 274.44 ）	
	水 痘		2	3			1	6（ 0.30 ）	2（ 0.10 ）	533（ 0.23 ）	158（ 7.90 ）	36,125（ 14.03 ）	
	手 足 口 病							（ ）	3（ 0.15 ）	340（ 0.14 ）	385（ 19.25 ）	27,795（ 10.80 ）	
	伝 染 性 紅 斑	1	2	11	1	2	3	20（ 1.00 ）	28（ 1.40 ）	1,545（ 0.66 ）	803（ 40.15 ）	148,083（ 57.53 ）	
	突 発 性 発 疹		2			1		3（ 0.15 ）	1（ 0.05 ）	512（ 0.22 ）	236（ 11.80 ）	31,505（ 12.24 ）	
	ヘルパンギーナ		1					1（ 0.05 ）	（ ）	218（ 0.09 ）	796（ 39.80 ）	49,025（ 19.05 ）	
	流行性耳下腺炎							（ ）	（ ）	79（ 0.03 ）	33（ 1.65 ）	5,822（ 2.26 ）	
	RSウイルス感染症		1	8	1	2	3	15（ 0.75 ）	13（ 0.65 ）	2,067（ 0.88 ）	1,010（ 50.50 ）	99,829（ 38.78 ）	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎							（ ）	（ ）	5（ 0.01 ）	（ ）	988（ 1.43 ）	
	流行性角結膜炎							（ ）	（ ）	487（ 0.70 ）	31（ 10.33 ）	26,835（ 38.78 ）	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							（ ）	（ ）	4（ 0.01 ）	3（ 0.38 ）	391（ 0.81 ）	
	無菌性髄膜炎							（ ）	（ ）	16（ 0.03 ）	7（ 0.88 ）	892（ 1.86 ）	
	マイコプラズマ肺炎			4			2	6（ 0.75 ）	7（ 0.88 ）	682（ 1.42 ）	290（ 36.25 ）	16,109（ 33.56 ）	
	クラミジア肺炎 （オウム病は除く）							（ ）	（ ）	5（ 0.01 ）	（ ）	116（ 0.24 ）	
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスに限る）							（ ）	（ ）	6（ 0.01 ）	23（ 2.88 ）	1,764（ 3.68 ）	
計 （ARIを除く）		18 （ 8.00 ）	97 （ 15.25 ）	275 （ 26.13 ）	53 （ 14.75 ）	51 （ 14.00 ）	49 （ 12.33 ）	543 （ 18.17 ）		111,380	26,377 （ 894.42 ）	3,007,081	
前 週 （ARIを除く）		24 （ 9.33 ）	38 （ 6.60 ）	158 （ 15.96 ）	63 （ 18.75 ）	46 （ 13.75 ）	40 （ 8.95 ）		369 （ 12.96 ）				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（発熱、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

注 （ ） は定点当たり人数

高知県感染症情報（49定点医療機関） 定点当たり人数

定点当たり		第46週											
定点名 (定点数)	保健所 疾病名等	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国（45週）	高知県（46週未累計） R6/12/30～R7/11/16	全国（45週未累計） R6/12/30～R7/11/9	
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*	19.00	37.57	67.00	48.00	30.25	26.43	44.45	42.84	78.35	1247.39	1729.49	
	インフルエンザ	2.33	6.71	10.54	6.50	8.50	2.57	7.08	3.13	21.82	228.39	200.18	
	新型コロナウイルス感 染	2.67	5.29	3.15	5.25	3.00	1.43	3.39	3.55	1.95	223.53	177.42	
小児科 (20)	咽 頭 結 膜 熱		0.50	0.25	0.50		1.00	0.40	0.30	0.23	11.50	16.39	
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎		0.50	3.50			2.00	1.80	1.10	1.97	93.25	94.32	
	感 染 性 胃 腸 炎	2.00	0.25	5.13	1.50		1.00	2.50	1.65	3.40	166.70	274.44	
	水 痘		0.50	0.38			0.33	0.30	0.10	0.23	7.90	14.03	
	手 足 口 病								0.15	0.14	19.25	10.80	
	伝 染 性 紅 斑	1.00	0.50	1.38	0.50	1.00	1.00	1.00	1.40	0.66	40.15	57.53	
	突 発 性 発 疹		0.50			0.50		0.15	0.05	0.22	11.80	12.24	
	ヘルパンギーナ		0.25					0.05		0.09	39.80	19.05	
	流行性耳下腺炎									0.03	1.65	2.26	
	RSウイルス感染症		0.25	1.00	0.50	1.00	1.00	0.75	0.65	0.88	50.50	38.78	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									0.01		1.43	
	流行性角結膜炎									0.70	10.33	38.78	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.01	0.38	0.81	
	無菌性髄膜炎									0.03	0.88	1.86	
	マイコプラズマ肺炎			0.80			2.00	0.75	0.88	1.42	36.25	33.56	
	クラミジア肺炎 （オウム病は除く）									0.01		0.24	
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスに限る）									0.01	2.88	3.68	
計 （ARIを除く）		8.00	15.25	26.13	14.75	14.00	12.33	18.17			894.42		
前 週 （ARIを除く）		9.33	6.60	15.96	18.75	13.75	8.95		12.96				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（発熱、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）			疾病別・年齢別報告数													2025年										46w										
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上																						
急性呼吸器感染症 (38)	急性呼吸器感染症 (ARI)*	1,689	158	462	361	268	73	46	48	40	46	57	62	68																						
定点 (定点数)	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上														
急性呼吸器感染症 (38)	インフルエンザ	269	1	1	2	10	15	11	3	13	17	12	19	92	13	16	7	6	10	3	10	8														
	新型コロナウイルス感染症	129		2	2	3	1	1	1			1		14	4	5	6	7	15	20	19	28														
定点 (定点数)	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上																				
小児科 (20)	咽頭結膜熱	8		1	2	1		3	1																											
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36				2	2	5	5	4	5	5	4	2		2																				
	感染性胃腸炎	50		3	6	6	2	5	6	4	4	1	4	7		2																				
	水痘	6											1	5																						
	手足口病																																			
	伝染性紅斑	20	1		1			4	4	5	2		1	2																						
	突発性発疹	3	1	2																																
	ヘルパンギーナ	1			1																															
	流行性耳下腺炎																																			
RSウイルス感染症	15	1	2	9	1	1		1																												
定点 (定点数)	疾病名等	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上															
眼科(3)	急性出血性結膜炎																																			
	流行性角結膜炎																																			
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上																		
基幹(8)	細菌性髄膜炎																																			
	無菌性髄膜炎																																			
	マイコプラズマ肺炎	6		2	1	2				1																										
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)																																			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)																																			

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別年次報告数推移 2025年第46週
(急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点)

